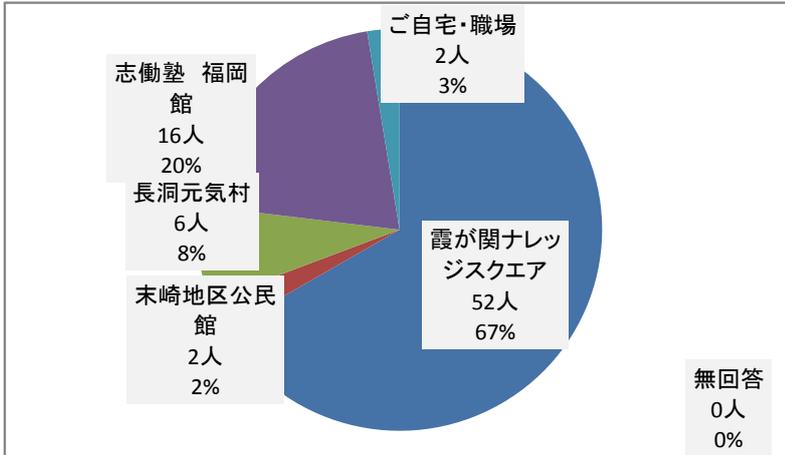


# 平成24年度霞が関ナレッジスクエア(KK2)“復興まちづくり”シンポジウム 「復興まちづくりに取り組む被災地と求められる行政、企業、NPOの支援とは」 アンケート結果

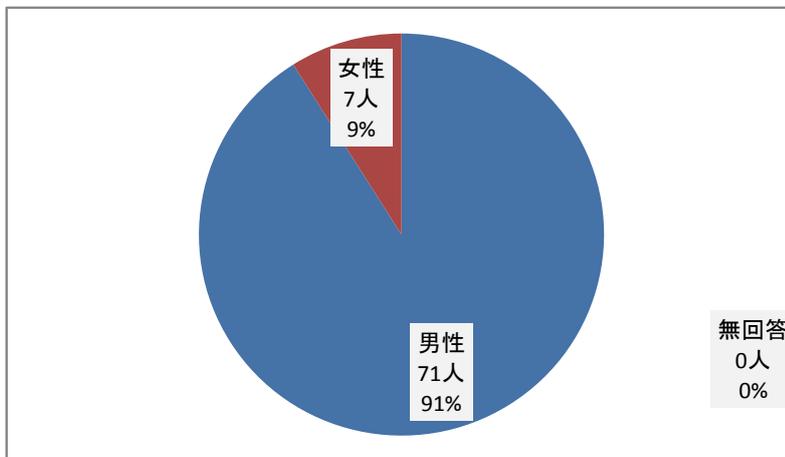
2012/7/3実施

## 1、あなたの受講会場を教えてください



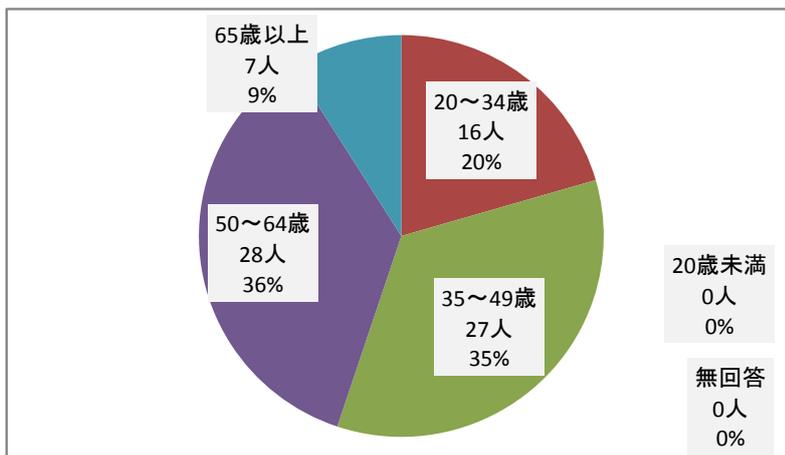
| 会場名         | 回答数 | 参加人数 |
|-------------|-----|------|
| 霞が関ナレッジスクエア | 52人 | 79人  |
| 末崎地区公民館     | 2人  | 5人   |
| 長洞元気村       | 6人  | 6人   |
| 志働塾 福岡館     | 16人 | 18人  |
| ご自宅・職場      | 2人  | 13人  |
| 合計          | 78人 | 121人 |

## 2、あなたの性別を教えてください。



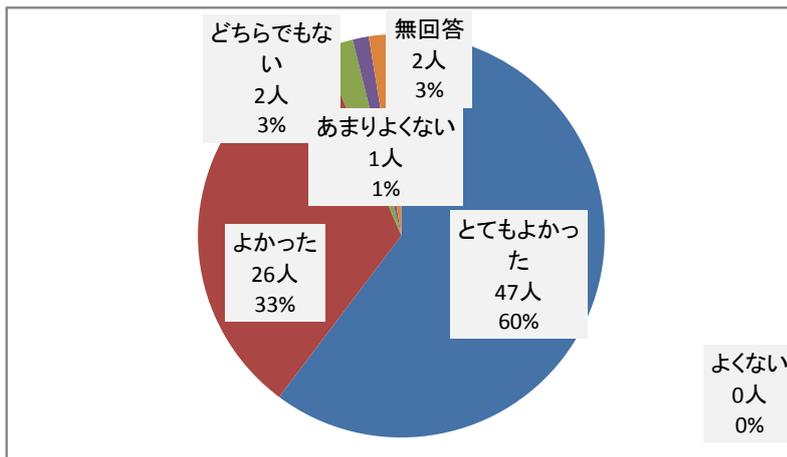
| 項目  | 回答数 |
|-----|-----|
| 男性  | 71人 |
| 女性  | 7人  |
| 無回答 | 0人  |

## 3、あなたの年代を教えてください。



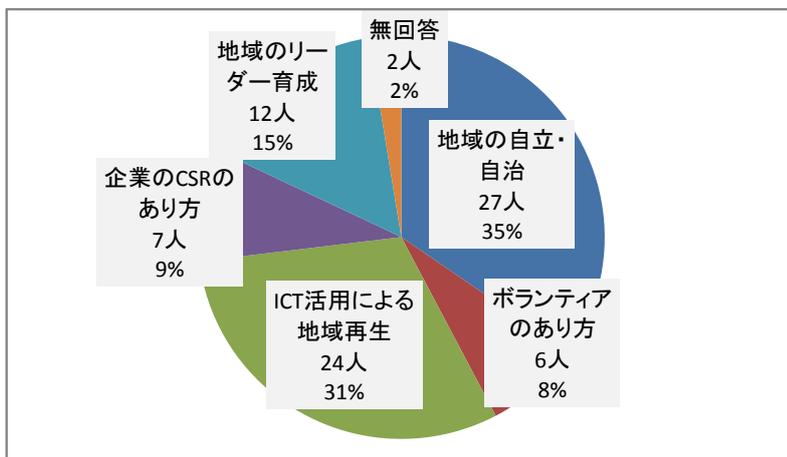
| 項目     | 回答数 |
|--------|-----|
| 20歳未満  | 0人  |
| 20～34歳 | 16人 |
| 35～49歳 | 27人 |
| 50～64歳 | 28人 |
| 65歳以上  | 7人  |
| 無回答    | 0人  |

#### 4、本日のプログラム全般についていかがでしたか？



| 項目      | 回答数 |
|---------|-----|
| とてもよかった | 47人 |
| よかった    | 26人 |
| どちらでもない | 2人  |
| あまりよくない | 1人  |
| よくない    | 0人  |
| 無回答     | 2人  |

#### 5、今後、KK2で取り上げて欲しいテーマは何ですか？



| 項目           | 回答数 |
|--------------|-----|
| 地域の自立・自治     | 27人 |
| ボランティアのあり方   | 6人  |
| ICT活用による地域再生 | 24人 |
| 企業のCSRのあり方   | 7人  |
| 地域のリーダー育成    | 12人 |
| 無回答          | 2人  |

## 6、“復興まちづくり”シンポジウムについて感じたことお気づきになったことがございましたら、何でも結構ですのでご記入下さい。(自由記述)

### 《霞が関ナレッジスクエア》

- ・まだインフラが充分でない箇所がある事に驚いている。今後の復興に向けてメーカーとして自治体へシステム提案したい
- ・官庁もバランス感覚があると思いましたが、やることにバランスが欠けてます。
- ・テーマをもう少し絞っても良いのではと思いました。被災地の今後の復興に向けて外部の支援者ができる役割を考えて行きたいと思いました。
- ・末崎長出身ということもあり、非常に参考になるシンポジウムでした。震災を問わず地方が抱えている問題、若い人たちも参加していかなければならないと感じました。
- ・現地の生の声、問題点等が聞けて大変良かったです。
- ・住む家、交通機関、買い物する店も必要だがそこに住む為には働く場所が必要でありその事についてもっと考えねばと思った。
- ・最後の一言ずつが良かったです。
- ・非常に勉強になりました。ただ無理やりICTと結びつけなくてもいいと思います。
- ・大変良かったです
- ・岡本統括官の言う事、もっともです。ですが、発言が軽率すぎます。ネットで流れている訳ですから発言に気を付けられた方がいいと思います。
- ・地方議員の役割とは何か、特に被災地の地方議員に投げかけたらどうか
- ・4人の本音トークはとても参考になった。初めて復興庁の方のお話を聴いた。好感を持ちました。
- ・自分なりに何ができるか考えられました。
- ・平時からの準備の重要性を改めて認識しました。地域のコミュニティでも活動に活かしたいと思います。
- ・現場の生の声が聞けて良かった
- ・地域の生の声が聞けてとても良かった
- ・シンポジウムスタイルよりも、フューチャーセンターワールドカフェスタイルで実施して欲しい
- ・地域ニーズの把握と合流形成
- ・福島復興のあり方、街・農地・山林の除染のあり方
- ・日頃報道されていますガレキ処理に対して協力自治体でも地元住民の放射能汚染の心配から反対運動が起きている現状から見てなんと人間は買ってなのかと考えられる昨今です。その事が地元では復興に向け少数のリーダーのもと大変なご苦労をされて頑張っているお話を伺い胸をうたれました。今後とも困難にめげずに健康で頑張れる事を祈っております。

### 《志働塾 福岡館》

- ・復興の難しさ
- ・「やる気があってもお金がない」岡本さんの言葉…本日のパネリストそれぞれの団体の資呈のやりくりを知りたかった。単に復興支援だけだったのでしょうか。後半出席できなかったのも、そちらのプログラムで扱われたのかもしれない。やる気があってもお金がないボランティアが現地で長期滞在しながら活動できるのでしょうか。
- ・九州にいて、復興まちづくりの大変さがよくわかりました。地域のつながりを福岡でも行いたいと思います。
- ・途中参加だったので第一部を再度見れたらいいなと思います。
- ・お金を出したら…後は私は知らない、そういう支援活動をしていることが多い中、実際の現状はどうなのか？これを知ることによって様々な抱えている問題が理解でき、さあ、そこから次に何が具体的にできるのかを進んでいける。復興の問題に限らず、原発の問題のあらゆること柄は問題を知った時に嘆いたり、非難するのではなく、解決するためにはどうすることが大切なのか、私は後者になりたいと思いました。
- ・被災者とは誰だ？正しいこともそうでないことも目に見えないものは誰にもわからない。だから自分は正しいと思いついてやるしかない。
- ・私は水害に2回遭いましたが、その時は何も助けてくれるものはありませんでした。支援がどういう人に必要なのか、同じように苦しんでいる人もいます。もっと身近な所にも支援してほしい。
- ・サテライトはやはり若干の疎外感がありますが…もちろんそれは当然のことだと思います。勉強になりました。ありがとうございました。
- ・現地の生の声を通して現在の状況や課題がリアルに感じ取れました。
- ・「社会人」社会を支えていく人を輩出することが早急に必要と感じました。これからの次の次の世代を育むことに特化していくことに改めて気付きました。ありがとうございます。
- ・現場で活躍されておられる方々のご苦労は計り知れないことだと改めて感じました。本当に大変な状況だったと思います。自分にも何かできることを実現して継続できるように頑張りたいと思います。

《全国のご自宅・職場》

・非常に有意義な時間、ありがとうございました。若者は仕事や育児があり、真に地域活動を担えるのはシルバークラウドやなでしこということ意識した地域自立支援のあり方が求められると感じました。

《末崎地区公民館》

・ボランティアの実践者、被災地で活躍するリーダー、復興庁と討議者のマッチングが良かったと思う。  
・当、平(たいら)地域は幸いにも津波の被害に遭わなかったが他地域からの移住者が多くなり200世帯を超える状況です。さらに公営住宅も地域内に建設が決まっています。したがって困るのは情報伝達です。有線放送もありますが老朽化と地震に伴い、一部箇所で聞きとれない所もあります。元気村の様な携帯メールによる一斉伝達方式に支援をお願いしたいところです。全世帯には無理と思いますので、役員宅(6)と班長宅(10)をお願いしたいと思います。

《長洞元気村》

・今回仕事の都合にて最後まで参加することが出来ず非常に残念ですがこれまでにKK2の皆様には本当にありがとうございました。

長洞元気村にいながら色々な人たちの意見、報告などが聞けることなど私にとっては非常に感激しています。

村上誠二により長洞元気村に帰ってきてもその時の雰囲気など色々報告を受け勉強しております。

シンポジウムの感想と言うより今までのお礼の言葉です。

今後とも元気村を宜しくお願いします。